

FENICE SACAY CALENDAR 2022

大ホール ライブショー ワンマンまつり ハタイス編 単公演 1月30日(日) ①開演13:00 ②開演19:00	小ホール 伝統芸能 桂米留治 独演会 2月18日(金) 開演15:00	大ホール POPS SongLetters -Forever For Always, For Love- 2月23日(水・木) 開演18:00	大ホール CLASSIC 映画「砂の器」 シネマ・コンサート2022 2月28日(月) 開演18:30	大ホール 伝統芸能 THE フェニーチェ文楽 人形浄瑠璃文楽 「義経千本桜」 3月6日(日) 開演16:00
大スタジオ CLASSIC 音楽のあるひととき Vol.7 3月17日(木) 開演14:00	小ホール 伝統芸能 桂吉弥 独演会 3月23日(水) 開演15:00	大ホール CLASSIC 大阪交響楽団 演奏会 フェニックスから最大規模へ、 映画音楽にも触れる 3月25日(金) 開演15:00	小ホール CLASSIC 西川悟平 トーク＆ファンサート ～音楽の物語 7本の槍のピアニスト～ 3月29日(火) 開演15:00	大ホール 伝統芸能 中村勘九郎 中村七之助 中村勘太郎 中村長三郎 新春特別公演2022 3月31日(水) ①開演11:30 ②開演15:30
大ホール POPS さだまさし アコースティックコンサート 2022 4月21日(木) 開演18:00	大ホール ライブショー ディノ・サバイバル DINO-A-LIVE 4月30日(土) ①開演10:30 ②開演13:30 ③開演16:30	大ホール CLASSIC フィルハーモニー・ オーボエ・カルテット 5月8日(日) 開演15:00	大ホール 伝統芸能 鼓童 ファン・アス・アフー2022 ペー 6月12日(日) 開演15:00	

最新の公演情報はフェニーチェ堺HPをご覧ください。都合により、曲目・公演内容が変更になる場合がございます。

チケット購入先

W WEB購入 (詳細は下記をご覧ください)	S 電話・窓口購入 (詳細は下記をご覧ください)	U チケットぴあ(ポード) 0570-02-9999	Q ローソクチケット(ルコード) https://l-like.com
e e+バイパス https://eplus.jp	CN CHレガリティ 0570-08-9999	楽 楽天チケット https://ticket.rakuten.co.jp/	★ 未就学児 入場不可

チケット購入方法

WEB購入 6:00～翌2:00	チケット購入後の登録が必要です sacayメイトへ登録 sacayメイト 検索	セブンイレブン ファミリーマート 配送 当日会場引取
----------------------------	---	-------------------------------------

電話予約 10:00～18:00 (休日の有休営業)	堺市文化振興財団チケットセンター 0570-08-0089 (チケット予約専用) ※一部席・CATV接続電話・伊電話はご利用いただけません。	セブンイレブン ファミリーマート 配送
---	---	---------------------------

窓口 直接購入 9:00～20:00 一般発売日の翌日より 残席がある場合のみ販売	フェニーチェ堺 堺市立柳文化会館 堺市立東文化会館 アルテペル(堺市立東文化会館)
---	---

TEL:072-223-1000 FAX:072-223-1005
堺市東区橋筋2-1-1 南海高野線「堺東」駅徒歩9分 休館日:第1・第3月曜(祝日の場合は開館)および年末年始
TEL:072-296-0015 FAX:072-291-7083
堺市南区松山62-1-2 南北高野線「岸・美木多」駅 休館日:月曜および年末年始
TEL:072-230-0134 FAX:072-230-0138
堺市東区北野1084-136 南海高野線「北野田」駅直結 休館日:水曜(祝日の場合は開館)および年末年始
TEL:072-363-6868 FAX:072-363-0070
堺市東区松山167-1 南海バス「美原区役所前」バス停 休館日:第2・第4月曜(祝日の場合は開館)および年末年始



フェニーチェ堺

堺市堺区橋筋町2-1-1
南海高野線「堺東」駅から
徒歩8分

劇場は待っている。

フェニーチェ堺

FENICE SACAY



©一色 美奈保

巻頭特集

フェニーチェ堺へようこそ♪
～ホールを使ってみよう～

2022
vol.17



フェニーチェ堺季刊誌 <2022 vol.17>

編集:フェニーチェ堺(堺市文化振興財団) / (株)トリプル・オー
発行人:(公財)堺市文化振興財団 〒590-0061 堺市東区橋筋町2-1-1
TEL:072-223-1000(9:00～20:00) 第1・第3月曜休刊 FAX:072-223-1005

目次	
2	目次
3	ペンと劇場
4-5	巻頭特集 フェニーチェ堺へようこそ♪ ～ホールを使ってみよう～
6-7	公演情報
8	小佐田定雄「古典」の扉
8-9	公演情報
10-11	文化講座ほか
12-13	地域のイベント情報ほか
14-15	ふれる堺

『表紙について』

冬のフェニーチェ堺は、シンと冷えた翁橋公園に
ウィンタールミネーションと劇場の灯りが重なりあって幻想的です。
厚手のコートを着たお客様が足早に駆け込んで来られました。
「どうぞ、早くフェニーチェの中へ」
暖かい空気と場所、そして何よりアーティストの熟演と共に、
外は寒くとも中は暖かく、
今日も皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



劇場の情熱 作家 朝井まかて

秋の落語ものがたり 春風亭一之輔独演会 11月29日公演



人々の肩が上下に小刻みに揺れる。ふふふ、くすくす。だが隣席の男性の笑い声は常に他より先んじている。たぶん一之輔さんのファン、そして古典落語によく通じている人だ。マスク越しの、少しくもった笑い声ではあるけれど、さも嬉しげだ。楽しげだ。この男性に限らず、大阪の人々は一之輔さんを待っていたのだと思う。

江戸落語の噺家が上方落語の地で演ずるのはなかなかしづらいものだという傾向がかつてはあった。その逆もしかり。だが時代は変わり、一之輔さんは大阪でも人気が高い。
「あの方はほんとに巧いですわ。上方の玄人の落語家にも人気があります」と教えてくれたのは、知人だ。一之輔さんの落語を聴いて数週間おちのこと、偶然にもそんな話になった。知人は著名な歴史学者なのだが落語に造詣が深く、大阪では「噺家は著名な歴史学者、で通っている。私も首肯して、それからしばらく談義になった。『俳優や歌手にも言えることやけど、巧いことはい。そやけどその巧さが鼻につくという人がいるでしょう？ 逆に、決して巧いことはいねんけど妙に気持ちを持っていかれて、ああ、ええなあ、となる。あの違いつて、なんなんでしょうね』と、私。するとこの先生、間髪を容れず答えてくれた。
「巧いけど、その巧さが鼻につく、そういう芸は、結局は巧いことはいねんです」
いづれもながら単純明快にして、すとんと腑に落ちた。圧倒的な巧さで観客その巧さをさえ忘れさせて、噺の中で遊ばせてくれた。「春風亭一之輔独演会」は、まさにそういう舞台であった。井戸の釣瓶に吹く朝風、路地の踏板を鳴らす下駄の音まで聞かえてきた。

さて、落語には出入りの長屋者に人生の作法を教諭する隠居がよく登場するが、「加賀の千代」の隠居は説教しない、教条的でない。あるのは底抜けの情だ。一之輔さんが最初にこの演目を演じたのは、コロナで疲れた客席への心やりだったような

気がしている。なしろ、「してはいけない」が続き過ぎた。
『あくび指南』は、天下泰平が続いた江戸期、教義主義が広がって庶民までが稽古事に奔走した史実が踏まえられている演目だ。時代小説・歴史小説を書いている私としては、あの頃の暢気な明るさを思い出す。日本人が最も幸福そうに笑っていた時代だ。

『味噌蔵』は商家のケチな主と忠義の番頭の対比が面白い。旦那の留守に奉公人たちが羽目を外すのは狂言の「穉穉」に源があらうか。忠義一徹の番頭の本音に溜飲を下げ、お馬鹿なくくりを笑い飛ばせるのもう落語の世界だけなのかもしれない。誰かを傷つけずに落とすには、世間に寛容が必要だ。そしてやはり演者が巧くなければならない。客は筋も落ちもわかっていて。その裏を掻いたり様かなったたりしながら光景と心情を立ち昇らせるのが芸だ。演者と観客が一体になって、その日一度きりの花を咲かせる。

私もあの日、いつしか胸を上下させ、肩を揺らし、声を挙げて笑っていた。日常がやっと戻ってきたと思った。本来は芸術に触れる時間は非日常である。けれど非常事態が続いて人の世の麗さが骨身に沁みただからこそ、かくも懐かしく慕わしかった。
この「フェニーチェ堺」はまだ若い劇場である。劇場はこうあってほしいという夢と志が見事に具現化されている。だがすべてはこれからだということもスタッフはわかっている。どうか目先の数字、成果に促されることなく、百年先も今情熱の続く劇場であってほしいと願う。だから私も精々足を運ぼうと思う。劇場を育てるのは客である。地元である。町衆である。今も昔もそれは変わらない。

そうそう、私は落語に詳しくないことをここで白状しておきたい。けれど好きだ。詳しくなくとも好きだと公言する心臓だから、小説なんぞで身過ぎ世過ぎをしているわけです。おとがよろしいようで。



ボタナ 祥伝社 好評発売中

明治初期の土佐・佐川の山中に、草花に話しかける少年がいた。名は牧野富太郎。独学で植物研究に没頭した富太郎は、「日本人の手で、日本の植物相（つくり）を明らかにすることを目指し、上京。東京大学理学部植物学教室に出入りし、新種の発見、研究雑誌の刊行など成果を上げても、突然には大学を出入し「隠士」に。私財を注ぎ込み研究を継続するが、気が付けば莫大な借金に身動きが取れなくなり……。現代の植物学を築く長編小説。

朝井まかて

1959年、大阪府生まれ。2008年『美え花8』の（ち）花魁へ（に）改題で小説現代長編新人賞奨励賞を受賞。デビュー『恋歌』で本賞、『阿彌陀橋』『瀬川作左衛門』『やからん』や短編は本々大賞、[国]で山崎秀文学賞、『長良川舟楫』文学賞、『雲と雪下り』や非公認文芸賞、『藤玉伝』で司馬遼太郎賞、『ツツミ』で経世賞、『国]で芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。『瀬川作左衛門』三部作を受賞。



巻頭特集 フェニーチェ堺へようこそ♪ ～ホールを使ってみよう～

フェニーチェ堺の正式名称は「堺市民芸術文化ホール」。48年間市民に愛された堺市民会館が老朽化によって建て替えられ、堺市の新たな芸術文化の発信拠点として2019年10月にグランドオープンしました。

オープン以来、海外のオーケストラ、著名アーティストのコンサートや個性豊かな公演・企画が行われていますが、観客としてホールを楽しむのとあわせて、皆様が主人公となる舞台として、**フェニーチェ堺を活用**してみるのはいかがでしょうか。

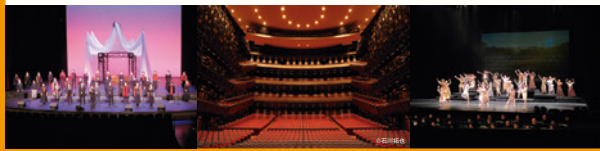
素敵なイベントを開催する。たくさんのお客様の前で成果を披露する。照明などの演出が施されたステージで動画や写真を撮影する・・・

劇場ならではの雰囲気や機能を活かし、またとない魅力的な体験をしてみませんか？

フェニーチェ堺には大小さまざまな施設がありますが、今回はその中から3つのスペースをご紹介します。

大ホール 気分は一流アーティスト！MISIAや葉加瀬太郎も立つステージにあなとも

南大阪最大の2,000席の座席を誇り、ホールそのものが「よく響く楽器のように」というコンセプトのもと設計された音楽性重視の多目的ホール。シックなデザインの壁面に囲まれた広大な劇場空間と、真紅に燃えるあざやかな座席のコントラストの美しさに、初めて訪れた方が息をのむほど、様々な演出に対応できる広い舞台と設備を備え、オーケストラをはじめオペラやバレエなど多人数が出演する大規模なものから、ミュージカルのような最新の演出が求められるもの、ロックやポップスのコンサート、ダンスフェスティバルや吹奏楽部の定期演奏会といった学生が主役のイベントまで、多彩な公演が催されています。



小ホール 日常と非日常がクロスオーバーする、“ちょうどいいサイズ”の劇場施設

ピアノの発表会やコンテスト、バレエや室内楽の公演会場としてよく使われる312席の小ホール。そのほかに入社式・授与式などの式典、ビジネスカンファレンス、講習会や講演会、ファッションショーにおいしいライブなど、実に幅広い用途で利用されており、地域の皆様に親しまれています。和を感じさせる、茶の湯にちなんだ落ち着いた淡いグリーン



大スタジオ 自由度の高さはフェニーチェ堺でNo.1。アイデア次第のユーティリティスペース

近隣では最も大きいスタジオ施設で、広い空間・増強された床・大きな鏡を備え、バレエやダンスのレッスン、合唱や楽団の練習場などに最適。しっかりとした防音も施されています。音響や照明の設備も小ホール並みに用意されていて、100名以上の観客が入る「第三のホール」として大々利用することも可能。楽屋も備えています。室内楽や演劇といった活用方法のほかに、ダンスやコスプレのワークショップを行ったり、演出たっふりの朗読劇や立食パーティーの会場になったことも。用途に合わせてステージやスクリーンを設置することもできる、説明会や研修にもうってつけです。



フェニーチェ堺の施設を利用してみよう！

大ホール・小ホール・大スタジオは時間区分でもお使いいただけます。
たとえば平日利用で、入場料等を徴収しない場合の料金はこちら♪
土曜日の利用や入場料を徴収する場合、または特別にお住まいの方・学生などが休める日、堺市で活動する団体の利用などとも料金は変わります。詳しくはお問い合わせください。
フェニーチェ堺 施設利用直通: 072-232-1400(9:00~20:00 第1~3月曜日休)

時間区分	大ホール	小ホール	大スタジオ
9:00~12:00 (午前)	65,180	33,600	25,050
13:00~17:00 (午後)	116,110	42,760	33,300
18:00~22:00 (夜間)	141,570	42,760	33,300
9:00~22:00 (全日)	280,090	119,120	91,650

(円・税込)

バリアフリー対応

オストメイト対応トイレ
両気や事故が原因でストーマ(人工肛門・人工膀胱)を装着している方をオストメイトといひ、その人口は日本で20~30万人といわれています。フェニーチェ堺では難病に多いオストメイトを19ヶ所増設設置しており、そのうちストーマ装着などを行うための流しを設けたオストメイト対応トイレは増設中です。



聴覚障害者補聴システム
(ヒアリンググループ)
聴覚者の聞こえを支援する装置を設けられています。補聴器をお持ちでない方には音声受信機を貸し出ししておりますので、スタッフへお申し出ください。
音声録音録画システム
シナリオ・スクリプト(脚本)録音・録画・編集・小型送信機をお持ちの方に、音声案内を提供できる装置を正面玄関(施設入り口)に設置しており、聴覚・聴覚障害者の利用がスムーズです。

私たちがお手伝いします。
予約方法から舞台裏のことまで、お気軽にご相談ください。



POPS
大ホール

SongLetters -Forever, For Always, For Love-

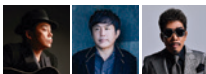
2月23日(水・祝) 開演18:00

ぜんぶ、名曲。オリジナル曲もカバー曲も時代を超えて歌い継がれ、聴き継がれるナンバーばかりで続く一夜限りのコンサート。

出演：大澤常志幸、佐藤竹香、鈴木雅之、Ms.OOJA、八神純子

チケット発売日：1月29日(土) 7,800円 主催：FM COCOLO 共催：フェニーチェ堺

W S
U P
E CN

POPS
大ホール

さだまさし アコースティックコンサート2022

4月21日(木) 開演18:00

2018年フェニーチェ堺開館前イベント「南宗寺の宴」、

2020年アコースティックコンサート2020に続き、稀代のエンターテイナーが帰来!

チケット発売日：2月5日(土) 8,800円 主催：キョードー 共催：フェニーチェ堺

W S
U P
E CN

ライブショー
大ホール

恐竜ラボ! ディノ・サバイバル DINO-A-LIVE

4月30日(土) 開演10:30/13:30/16:30

研究所に招待された恐竜好きの少年。ちょっとへんな博士に大切な化石を渡すと、なんと本物のティラノサウルスが目の前に出現!! 博士のわかりやすい科学解説と、実物大の恐竜たちがステージ上で戦うリアルバトルに興客間違いなし! 世界初のリアル恐竜体験プログラムをお楽しみください。



好評発売中

S席3,900円 A席2,900円 ダイナミックシート5,900円

主催：東宝テレビ / 中京テレビ / キョードーマシニングシステムズ / フェニーチェ堺 制作：株式会社ON-ART

3歳以上有料、2歳以下は観覧無料(ただし座席が必要な場合は有料)
W S U P E CN 646-998 55563

伝統芸能
大ホール

鼓童ワン・アース・ツアー2022〜童

6月12日(日) 開演15:00

出演：太鼓芸能集団 鼓童

演目：【第一幕】聲、三宅、二和加、南風、海鳴り 【第二幕】神歌、興、独奏、いのち、大太鼓、屋台囃子

チケット先行発売日：2月10日(木)〜2月14日(月) S席5,800円 A席4,800円 B席3,800円

主催：フェニーチェ堺 企画・制作：北新祐

W S U P E CN



W S U P E CN については裏表紙をご覧ください

●最新の公演情報はフェニーチェ堺HPをご覧ください ●都合により、公演内容が変更になる場合がございます ●観覧情報は1月10日現在

チケットを購入する



前代未聞!

世界最高峰ベルリン・フィルによるアンサンブルと佐渡裕のコラボレーション

CLASSIC
大ホール

フィルハーモニー・オーボエ・カルテット

with 佐渡裕(ナレーター)

5月8日(日) 開演15:00

オーボエ：クリストフ・ハルトマン

ヴァイオリン：ルイス・フェリペ・コエーリョ

ヴィオラ：ワルター・ハウスナー

チェロ：クレメンス・ヴァイゲル

ナレーター：佐渡裕 ※佐渡裕は指揮いたします

W.A.モーツァルト：オーボエ四重奏曲 へ長調 K.370

J.フランセ：イングリッシュ・ホルン四重奏曲

W.A.モーツァルト：オペラ「魔笛」(ロシナック編曲)



佐渡裕からのメッセージ

2019年1月に国内初公演をさせていただいたフィルハーモニー・オーボエ・カルテットの企画を、再びフェニーチェ堺ですることになり本当に光栄に思っています。

ベルリン・フィルのメンバーを中心にオーボエ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロで結成されたこのカルテットは、各楽器の世界的名手たちが、まるで小さなオーケストラのように有名なモーツァルトのオペラ「魔笛」のハイライトを演奏します。たった4人でオペラの世界を表現するというのは、普通なかなか考えられないことですが、素晴らしいオペラの世界の深遠を表現してくれます。今回私は物語の進行役、ナレーターとして出演します。小さな編成ですが皆さまにオペラの世界を体験していただける本当に特別な企画です。オペラファンの方にも、そして初めての方にも楽しんでいただけます。どうぞご期待ください。

チケット発売の詳細は決まり次第ホームページにて発表 主催：フェニーチェ堺

ライブショー
大ホール

ワンワンまつり パラダイス編 堺公演

1月30日(日) 開演13:00/16:00

お子様に大人気! いらないないないばあ! のワンワンやうーたんたちがフェニーチェ堺にやってくる!

チケット抽選販売日：1月7日(金) 17:00〜1月14日(金) 23:59まで

A席2,850円 B席2,250円 主催：NHKプロモーション 共催：フェニーチェ堺



サカ イ sacayメイト募集

登録無料

詳しくは sacayメイト 検索



堺市文化振興財団やフェニーチェ堺で発行されたチケットを便利にご購入いただけるサービスです。

4つのsacayメイト特典

- 先行予約 チケットが1枚早く予約できる(一部公演を除く)
- WEBチケット購入 どこからでもチケットが買える
- メルマガ配信 最新の公演情報をメールでいち早くお届け
- その他 お得な情報が届くかも?

登録数
36,500人

情報誌設置場所(季刊)

堺市各区役所情報コーナー、文化会館、図書館、その他堺市関係施設、南海線、京阪高速鉄道の主要駅、その他、配布協力施設など。

「古典」の扉

古典芸能ときとハードルの高い世界...とお思いになるかもしれません。どんな世界でも、そこに入るための入り口にたつ場所があるものです。古典芸能の場合は予備知識がほとんど要らず、笑いをテーマにしている落語がその入り口に最もふさわしい存在だと思えます。この春、フェニーチェ堺がまさに「古典の入り口」になります。

まずは二月と三月に桂米團治さんと桂吉弥さんが、上方落語最大の名タといわれている「百年目」を二月に二月連続で競演いたします。

米團治さんの会には昨年、二代目を襲名した桂八十八さんが登場。「八十八」とは「米」という字を分解した米朝師匠の俳名です。

吉弥さんの会に登場するのは桂枝雀さん。師匠の枝雀さんと「落語の登場人物みたいな男」と呼ばれた名物の人物です。

そして古典の扉を開けて中に入っていたら、三月には大ホールで人間国宝・桐竹勘十郎さんをはじめとする文楽協会枝雀員さんによる公演が開かれ、嵐が大活躍するファンタジー「義経千本桜」を上演いたします。

そして、いま最も輝いている歌舞伎役者の中村勘九郎さんと中村七之助さんに加えて、勘九郎さんの息子の中村勘太郎さんと中村長三郎さんという「中村屋ファミリー」が登場、舞踊とトークを披露いたします。

この春は気軽に「古典」の扉をノックしてみませんか？



小佐田定雄

日本の演芸研究家、演芸作家、落語作家、狂言作家、関西演芸家協会会員。

落語



2021年度文化庁文化資源活用推進事業

～フェニーチェ堺特別企画 豪華開き比べ!～

桂米朝が十八番とし、上方落語の最高峰と言われる大ネタ「百年目」を、桂米團治と桂吉弥が月替わりで高座にかけます。語り手の違いによる味わいの変化をお楽しみください。

桂米團治独演会

2月18日(金) 開演15:00

かつての「若旦那」も、いまや円熟の雲境へ。米朝ゆずりの品と米團治らしい色気が織り成す華やかな落語は必見! ほがから心地の良い風が吹き抜ける、上質な笑いの時間をお過ごしください。

好評発売中 4,000円 主催:フェニーチェ堺 制作協力:米朝事務所 W S U 509-151 52668 E CN *



桂吉弥独演会

3月23日(水) 開演15:00

聞きやすく、おもしろい。桂米朝、桂枝雀に次いで1日3回×連続6日間の落語会「十八番」を達成。人気実力も兼ね備えた正統派の上方落語を、心ゆくまでご堪能ください。

好評発売中 4,000円 主催:フェニーチェ堺 制作協力:米朝事務所 W S U 509-152 52537 E CN *



満開の桜を背景にした華やかな道行、そして源九郎狐の歡喜の舞は必見!

伝統芸能
大ホール

祝・桐竹勘十郎師 人間国宝認定

THEフェニーチェ文楽

人形浄瑠璃文楽「義経千本桜」

3月6日(日) 開演16:00

人形浄瑠璃文楽
「道行初音旅」



文楽や歌舞伎を代表する名作中の名作「義経千本桜」から四段目の「道行初音旅」[河津法親麿の段]を上演。演目を知っているが未見の方や、歌舞伎では観たことがあっても文楽ではまだ、という方はこの機会にぜひご覧ください。江戸の昔から今に至るまで人々を魅了する文楽の世界をお楽しみあれ。人間国宝に認定された人形遣い、桐竹勘十郎ほか、豪華出演陣でお贈りします。

出演者:竹本鑑太夫、豊竹呂勢太夫、鶴澤清介、竹澤宗典、桐竹勘十郎、吉田勘彌 ほか

好評発売中 5,500円 主催:フェニーチェ堺 制作協力:(一社)日本の伝統芸能 協力:関西舞合株式会社 助成:(一財)地域創造 W S U 509-844 51792 E CN *

「義経千本桜」が3倍楽しくなる! ワカル文楽観る前セミナー

好評発売中
各回1,500円
主催:フェニーチェ堺
協力:(株)コンテンツ

伝統芸能
文化交流室

第1回 1月15日(土) 開始17:00 ゲスト:桐竹勘十郎 第2回 2月27日(日) 開始14:00

講師:東晴美(群馬県立女子大学講師)

3月6日に大ホールで行うTHEフェニーチェ文楽に先駆けて、上演する「道行初音旅」[河津法親麿の段]の見どころを解説。はじめての方にもわかりやすい解説で人気の東晴美先生を迎え、映像も交えて詳細にご案内します。セミナーのどちらかと本公演に会場のお客様には、公演特別ノベルティグッズをプレゼント。

伝統芸能
大ホール

中村勘九郎 中村七之助 中村勘太郎 中村長三郎 陽春特別公演2022

3月31日(木)

開演11:30/15:30

フェニーチェ堺には2度目の登場となる中村勘九郎と中村七之助。中村勘太郎・長三郎兄弟の出演は関西では専ら公演のみ。

出演:中村勘九郎、中村七之助、中村勘太郎、中村長三郎 ほか
演目:「玉寛」、トーク&ミニ歌舞伎、[「色彩胡弓豆」かきね]

チケット発売日:1月29日(土)
S席8,500円 A席7,000円 B席5,500円 C席4,000円 SS席10,000円

主催:関西テレビ放送、サンテレビプロモーション東京 共催:フェニーチェ堺
企画制作:株式会社ファンワウド、株式会社ファンワウド21 協力:松竹株式会社・キョードー



W S U 510-012 55982 E CN *

文楽

歌舞伎

W S U E CN 楽 * については裏表紙をご覧ください

●最新の公演情報はフェニーチェ堺HPをご覧ください ●都合により、公演・公演内容が変更になる場合がございます ●掲載情報は1月10日現在

チケットを購入する



大ホール

避難訓練コンサート

3月5日(土) 開演14:00 防災パネル&グッズ展示 12:45~15:15

コンサートの最中に地震が起きたら…
という想定で実施する避難訓練コンサート。
お客様にも実際に訓練に参加していただきます。
防災関連のパネルやグッズ展示もあり。

【出演】THE Rev Saxophone Quartet
(上野耕平/宮越悠貴/都築博/田中奏一朗)/
堺市消防音楽隊

※客席からホールの外への避難訓練にご参加いただけます。
動きやすい服装でお越しください。

申込方法:WEBまたはハガキによる応募

1申込で最大4名まで 1月31日(月)締め切り 詳細はホームページをご覧ください。

入場無料(観客前申込、応募多数の場合は抽選) 主催:フェニチエ等 協力:堺市消防局

無料 要申込

大ホール

ホール体験会

3月10日(木) ①11:00 ②13:00 ③15:00

ホールの「オモテ」と「ウラ」をどちらも体験!
なりきりピアノタイムでは弾いてもよし、撮影してもよし。
舞台を楽しんでください!
照明の仕組みや舞台裏の見学もあり。

【申込期間】1月24日(月)~2月17日(木)

【申込方法】ホームページをご覧ください。

無料
要申込

主催:フェニチエ等 ※小学生以下は必ず保護者と一緒に参加

CLASSIC
大スタジオ音楽のあるひととき Vol.7
ストリングス・サミット

3月17日(木) 開演14:00

大阪交響楽団のメンバーとお届けする気軽に楽しめる“1時間(ひととき)”。
8人の弦楽器奏者が魅せる音の対話

【曲目】ショスタコーヴィチ/弦楽四重奏曲第7番
メンデルスゾーン/弦楽八重奏曲

【出演】大阪交響楽団 弦楽八重奏
水村良子、吉岡克典、米川さやか、伊藤瑠紀(ヴァイオリン)
早田類、南條聖子(ヴィオラ) 大谷雄一、金井悠(チェロ)

好評発売中 1,000円 主催:フェニチエ等、(公社)大阪交響楽団 整理番号付き自由席

音楽
のある
ひととき

W S U 201-883 CN *

W S U CN ※ については裏表紙をご覧ください

●最新の公演情報はフェニチエWebサイトをご覧ください ●都合により、曲目・公演内容が変更になる場合がございます ●掲載情報は1月10日現在

チケットを購入する



堺市文化振興財団の地域に根ざした取り組み

堺市文化振興財団では、堺市内の小中学校・認定こども園、子育て広場、病院・福祉施設、子ども食堂といった地域の様々な場所で、コンサートやワークショップを実施しています。

クラシック音楽、オペラ、絵画、造形、能楽、バレエ、コンテンポラリーダンスといった様々な芸術ジャンルを取り扱い、それぞれ専門の経験豊富なアーティストと連携して、受け入れ先と調整しながら企画を行います。

また、財団が運営する(堺市新進アーティストバンク)に登録する若手アーティストの活躍の場でもあり、登録者に向けた「実践研修プログラム」とともに、地域社会に貢献できる優れたアーティストを堺市から輩出することを目指して、日々事業に取り組んでいます。

実施報告 1

葉っぱのお皿を作ろう! / 認定こども園向けワークショップ

10月27日に、堺市在住の陶芸家、中本聖紀さんによる造形ワークショップ「葉っぱのお皿を作ろう!」を運営することも実現しました。このプログラムでは、園児の皆さんが、あらかじめ用意した葉っぱを、土粘土に押し付けて型を取り、お皿の形に整えます。できたお皿は中本さんがいったんアトリエに持ち帰り、釜で焼き上げてくれます。完成後は葉っぱの跡がきれいに付いたかわいなお皿になって、また園児の皆さんのお皿に届きます。

日頃より触る油粘土との違いを、こねたり伸ばしたりしながら確かめました。また、用意してくれた葉っぱをみんなで見ながら「なんの葉っぱ?」と聞き合うなど、中本さんの問いかけに皆さんの好奇心が高まりました。「焼き上がったこんな風になるとよ」と見せてくれたお皿に皆さんびっくり、完成が待ちどほしい様子でした。



実施報告 2

鉄琴を作って遊ぼう! / こども食堂向けワークショップ

堺市文化振興財団では今年度から、市内の子ども食堂と協同してコンサートやワークショップを実施する事業を始めました。子ども食堂は、多様な子どもたちが集まることで、子どもの見守り、世代間交流、また家庭で起こる様々な困難にアプローチする機能を持つ場として、近年大きな注目を集めています。そうした地域の大事な役割を担う子ども食堂の活動を選好したいと、子ども食堂実践者の方々、および堺市社会福祉協議会の協力の下、企画を進めています。

11月13日には、堺市堺区にある(美彩)こども食堂(こころ)で校区の5~6年生に向けて、鉄パイプを切り出して鉄琴を作り、参加者全員で合奏するワークショップを実施しました。鉄琴製作パートをリードするのはアーティストバンク登録者で、日頃は金属を扱う立体造形作家の松田朋子さん。切り出しやすさなど、難しい工程を子どもでもできるように工夫してくれました。「鉄琴が自分でも作れるなんて思っていなかった」という声が上がりました。

そして合奏パートを企画したのは、同じくアーティストバンク登録者でピアニストの山本安那寿さん。鉄琴の鳴らし方を参加者が自分から自由に発見している、そのお互いの音をしりり聞き合えるようなワークを実施してくれました。思い思いの表現に大人たちはとても驚いていました。

子どもたちが自分から興味をもって様々な活動に触れていけるような企画をこれからも考えていきたいと思います。



フェニーチェ堺と同じく堺市文化振興財団が運営する、皆様の身近な施設のイベントを一部ご紹介。大ホールで映画とオーケストラ演奏と一緒に楽しめるコンサートなど。

及びチケット購入については裏表紙をご覧ください

※都合により、イベント内容が変更になる場合があります。

ピアノ 福岡 聡

W S 51889

無料 自由席 主催:アルテベル(堺市立美原文化会館) 問い合わせ:072-363-6868

ミュシャ・スタイル
MUCHA STYLE

秘

2019年11月20日(水) - 2020年4月3日(土)

《ジスマック》で展示スペース内にセンサーを仕込んだミュージシャ、現代の代表的なデザイナー作品を中心に、下着や習作も紹介しながらモチーフや図案、ミュシャのデザイン論も垣間見えるながら、「ミュシャ・スタイル」の秘密を探ります。

【観覧時間】9:30～17:15（入館は16:30まで） 【休館日】月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日（11/24、1/11、2/4、3/22）、年末年始（12/29～1/4）、展示準備時（2/1-2）
【観覧料】一般 510円 / 高校・大学生 330円 / 小・中学生 100円 / 主催「公益財団法人東京文化芸術振興財団 アートファンズ・ミュージアム」（後援：東京都文化局国際交流推進事務局、神奈川県教育委員会（協力）、日本経済新聞社、OGATAコレクション）の中央地区、特別に「公益財団法人 東京・神奈川地域文化振興会」が協賛しています。チケットは下記のとおりです。チケット情報はこちらをご覧ください
¥990-0004 大宮市博物館新設出展券（対角） ¥2,000 ムーブージュ併売券（片側取付） ¥2,500 徒歩9分30秒） TEL 072-222-5533 FAX 072-222-4833 HP <https://mucha.sakai-bunshin.com/>

会場開催のテーマ展示とミュージシャ・スタイルに親しむワークショップも開催。くわしくはHPをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための入館条件があります。予めHPで内容をご確認の上ご来館下さい。
本展に開催するイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、状況により中止または延期にする可能性があります。

同時開催のテーマ展示やミュシャ・スタイルに親しむワークショップも開催。くわしくはHPで!

A photograph showing two men in traditional clothing walking away from the camera on a sandy beach. Each man is carrying a large fish, likely a shark, on his back. The background shows the ocean and a cloudy sky.

52095 e CN ★

ピアノ 竹中真

公演の延期や中止で文化芸術を楽しむ機会が減ってしまった堺市民の方にお届けするプログラム。小学生～大学生及び障害者は無料招待あり。

● 及びチケット購入については裏表紙をご覧ください

※都合により、イベント内容が変更になる場合があります。

W S ★



指揮

作業体験

感染手ぬぐい専門店「にじゆら」の
田中啓介さんと小島雄一さんにお話を伺いました。



1 糊置き (板場) 職人の腕のみせどころ!

こちらは事前に職人さんが準備してくれている工程



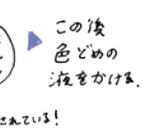
糊が付けられ
部分には染料が
染みこまないと、
布はじわばと
重ねてゆく。



「小島雄一さん」「田中啓介さん」
「にじゆら」各店舗では、感染の手ぬぐい
がでています。詳しくはHPで!

2 ちゅうせん つぼんで 注染 (壺人)

染料を、専用のジョウロ「壺」(どひん)に染料を入れて注ぎ込んで染めることから、染めの職人は「壺人」と呼ばれている。関西では細かく作業がしやすいようにジョウロの注ぎ口の長さが短く、関東ではジョウロの口が長いため遠くまで届く。

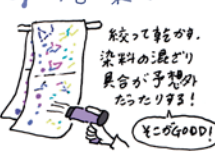


3 水洗い (川)



型置きの際、余分な染料、砂を洗い流す工程。

4 乾き火焚 (伊達)



動画
「にじゆらができるまで」



染色工場「ナカニ」にて
感染の手ぬぐいができ
るまで。

微ナカニ 大阪府堺市中央区毛穴町338-6

手ぬぐい専門店 にじゆら

大阪中崎町本店 大阪市北区中崎西4-1-7 グリーンシティ1階
ルウア大阪店 大阪市北区梅田3-1-3 LUCUA 大阪 9F
京都三条店 京都市中京区船場町通三条上ル分室石町38-1

神戸店 神戸市中央区三宮町2-8-2
染めこぼ店 東京都台東区上野5-9-18 2K540 AKI-OKA ARTISAN O-2
日本橋店 東京都中央区日本橋室町3丁B2-1 コドアンテラス2階

染

ふれる堺。

ちゅうせん 注染
大阪で生まれ、堺で花開いた
世界に誇る伝統産業

「注染」と聞いて、その意味を即答できる方そう多くはないかと思います。が、手染めなことはの優しい風合いの、彩り豊かな「ゆめた、手ぬぐい」をお持ちの方はかなりの人数がいらっしゃるのではなないでしょうか。

江戸から明治時代のゆめたな手ぬぐい染めは、藍の単色染め(長板染)が中心で、一枚ずつ長板に置き、色も色で染めていたため、日に仕上る数も色も限られていた。そこに新しい風を吹き込んだのが、明治時代に大阪で開発された「多色染め」を可能とする注染です。「生地の上に型紙を置き、その上から防染のりを塗り、型紙をあけて生地を折り重ね、再び型紙を置いて、防染のりを塗る」という作業を繰り返して、最後に何重にもなった生地の上から染色したい場所のりで、生地を作り、様々な色の染料を注いで、生地の下から染料を吸引し浸透させて染めるという。

手染めとしては最も新しい染色方法です。第5回国内国動業博覧会(明治36年大阪で開催)に、大阪の染色業者が出品したゆめたの試作品が入賞したことから、その技術は「一気」に全国に広まりました。

開発当初は職人がラッパ状のものを布の上に置いて、口で吹き込んで染料を浸透させていた。かなりの労力がかかる染色法でしたが、大正末期から昭和初期にかけてコブプレスという染料の吸引方法が開発され、一度に染料でできる枚数が飛躍的に伸びたことから、価格も手ごろになりました。また明治後期に入ると合成染料の輸入が盛んになったことも追い風となり、単色染めから「多色染め」つまり自由なデザインを可能とする注染の人氣が気に高まりました。

注染の特長は、表裏に同じ柄色合いが出ることです。寸分狂わぬ機械のプリントとは異なり、職人の技による手染ならではの興行き風合い、微妙な色合いを出すことが可能で、ばかしく等

の技法を活かして立体感や空気感を表現することにも優れています。注染で染め上げられた生地は、ほかの工程を人の手で行うため、繊維がつかれにくく、通気性に優れ、肌ざわりも柔らかく、独特なアジのあたる経年変化が楽しめます。そして近年、SDGsの観点からも手ぬぐいが見直され、改めてその魅力に注目が高まっています。

堺の津久野・毛穴地域は、手ぬぐいゆめたの産地であった大阪に、原材料である綿との産地の泉地域との間に位置し、石津川に「しづ」に必要なが水が豊富にあったことから、江戸時代から和服業が盛んに行われてきました。第2次世界大戦で大阪市内が焦土と化したため、注染の手ぬぐいゆめた業社が和服の産地である堺に移転したことから、その後の重要な産業の「た」として発展しました。

注※1「和服」
綿布がコマや糊・油などの不純物を取り除き、漂白された小巾木綿。原反(生なり)の脂肪や不純物を除去し漂白し、品質を均一にする工程。現在日本の「和服」の9割がこの地で生産され、平成23年には堺市伝統産業に認定されています。

3月21日は「日本手ぬぐいの日」です。

当日は微ナカニの堺の工場で見学会・注染体験を開催します。また東京でも関東店舗中心にイベントを催します。詳しくはHPでご確認ください。

注染は「浪華本染めゆめた・浪華本染め手拭い」として2016年に「大阪府知事指定 大阪の伝統工芸品」に。「浪華本染め」として2019年に国の伝統的工芸品に認定されています。